

左後肢（異常）



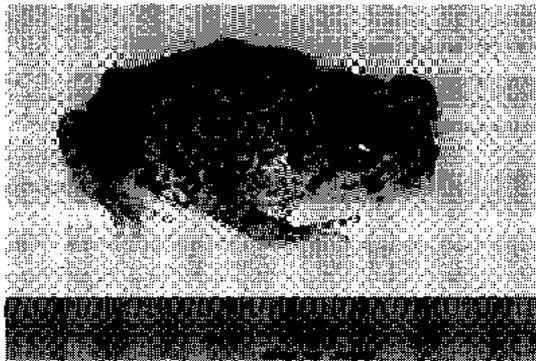
右後肢（正常）



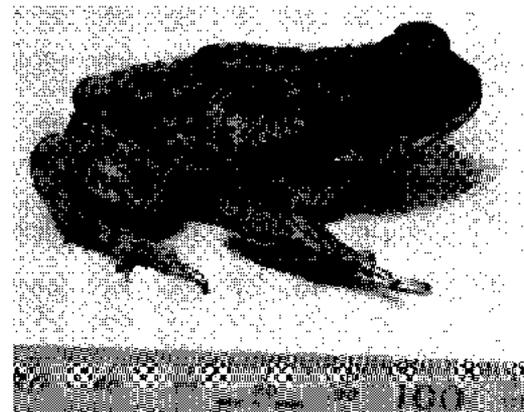
左後肢（正常）



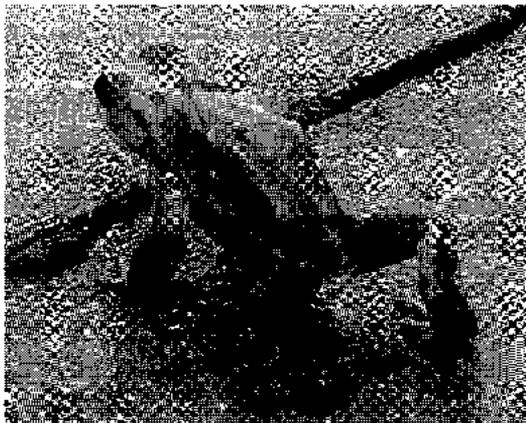
右後肢（正常）



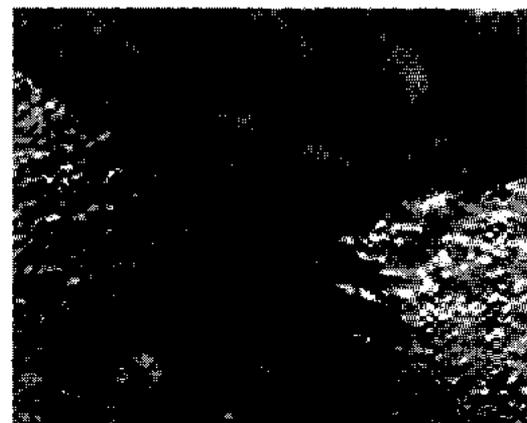
オオヒキガエルの奇形亜成体  
（左後肢指骨奇形）



オオヒキガエルの正常亜成体



左後肢欠損の  
ミヤコヒキガエル



拡大図

図5-4 南大東島で見られた奇形ガエル

調査(1)：平良市久松地区サトウキビ畑横の溜め池(図5-5)

調査日時：平成13年1月29日

天候：晴、微風、気温19℃(水温18℃)

観察個体数：ミヤコヒキガエル 成体3個体、変態直後100個体以上、幼生多数

調査(2)：平良市熱帯植物園内の人工池(図5-5)

調査日時：平成13年1月29日

天候：晴、微風、気温15.5℃(水温17℃)

観察個体数：ミヤコヒキガエル 成体4個体(抱接1対)、幼生20個体

調査(3)：平良市久松地区サトウキビ畑横の溜め池(図5-5)

調査日時：平成13年1月30日

天候：晴、微風、気温20℃(水温18℃)

観察個体数：ミヤコヒキガエル 成体1個体、変態直後100個体以上、幼生多数

調査(4)：平良市熱帯植物園内の人工池(図5-5)

調査日時：平成13年1月30日

天候：晴、微風、気温20℃(水温17℃)

観察個体数：ミヤコヒキガエル 成体0個体、幼生20個体

調査(5)：城北町マイダービーチ脇の人工池(図5-6)

調査日時：平成13年1月30日

天候：晴、微風、気温20℃(水温17℃)

観察個体数：なし

調査(6)：平良市長間地区の溜め池(図5-6)

調査日時：平成13年1月30日

天候：晴、微風、気温22℃(水温18.5℃)

観察個体数：ミヤコヒキガエル 成体0個体、変態直後2個体、幼生30匹、  
卵塊多数(尾芽胚期)

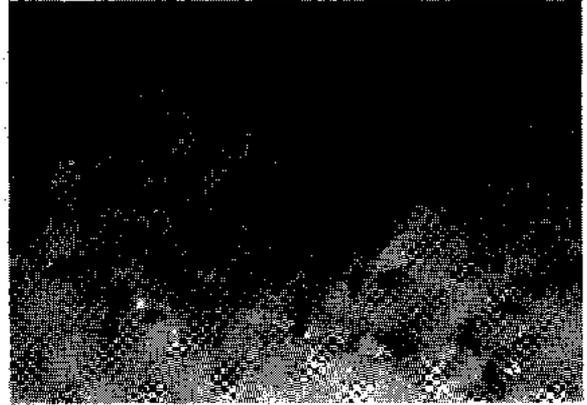
#### [考察]

宮古島における本年度の調査では昨年と同様、平良市熱帯植物園内の人工池でミヤコヒキガエル4個体(昨年度は3個体)を観察した。平良市久松地区では気温が低く、晴れていたこともあって観察した個体数は少なかった(今年/昨年=1/26)。しかし、変態直後の個体数は昨年と同様に多かったため、この地区における個体数は減っていないと思われる。この池の所有者の方によれば、池の水は現在、農業水に使用しないで放置しているとのことであった。従って、池の環境が変わっていないことが多くの変態直後の個体を観察した理由と思われる。とはいえ、宮古島におけるカエルの生息環境は必ずしも良好ではない。今回、新しく城北町マイダービーチ脇の人工池と長間地区の溜め池を調査したが、前者の池にはカエルが全く生息していなかった。また、後者の池は、雨水を溜める目的で地面を掘った小さな池であったが、

平良市久松地区



小さな溜め池



ミヤコヒキガエルの幼生群

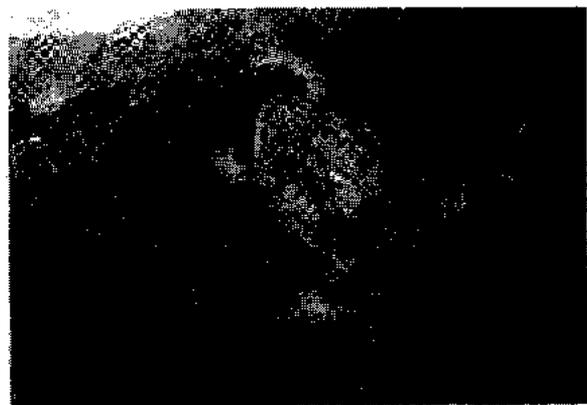


変態後のミヤコヒキガエルの幼体群



拡大図

平良市熱帯植物園



ミヤコヒキガエル (抱接中)

図 5-5 宮古島における実態調査